

- 61 -

Ⅵ 施設福祉等

施設種別等	内 容
<p>(7) 自立援助ホーム</p> <p>【児童自立生活援助事業Ⅰ型】</p>	<p>義務教育終了児童等に対し、共同生活を営むべき住居において相談その他の日常生活上の援助及び生活指導並びに就業の支援を行い、あわせて児童自立生活援助の実施を解除された者につき相談その他の援助を行う事業。入居定員は、5人から20人まで。</p> <p>○市内に22カ所 ○道内には、他に22カ所（Ⅱ型・Ⅲ型を除く）</p>
<p>(8) 地域小規模児童養護施設</p>	<p>地域社会の民間住宅等を活用し、近隣住民との適切な関係を保持しつつ、家庭的な環境の中で、養護を実施することにより子どもの社会的自立の促進に寄与することを目的とした施設。入居定員は、6名までで5名を下回らないこと。</p> <p>○市内に16施設 ○道内には、他に21施設（休止中は除く）</p>
<p>(9) 里親</p>	<p>保護者のない児童又は保護者に監護されることが不適當であると認められる児童を、里親の家庭に委託して養育する。</p> <p>①里親</p> <p>児童を自己の家庭内に預かり養育することを希望する者であって、市長が適當と認めた者をいう。</p> <p>②里親の登録</p> <p>里親希望者は、里親申請書を市長に提出する。</p> <p>市長は、児童相談所の行なった家庭調査等に基づき、札幌市子ども子育て会議で意見を聴いたうえで登録する。</p> <p>③里親の種類</p> <p>○養育里親：要保護児童を養育する。</p> <p>○養子縁組里親：養子縁組を前提として児童を養育する。</p> <p>○専門里親：被虐待児童、非行の問題を有する児童及び障がい等を有する児童を専門に養育する。</p> <p>○親族里親：両親等児童を現に監護している者が死亡や行方不明、拘禁等により監護不能な状態において、3親等以内の親族が養育する。</p>

※ 令和7年7月1日現在の施設数で助産施設、母子生活支援施設、保育所を除く。

2. 民間児童福祉施設等助成事業 ※※※※※※※※※※※※※※※※

事業名	内容
(1) 施設整備資金借入利子補助	<p>社会福祉施設整備資金借入利子補助要綱に基づき社会福祉施設の新築、修理、改造、拡張、整備又は災害復旧に要する資金を借り入れた際の利子を補助する。</p> <p>※ 令和7年度予算額 3,949 千円（児童養護施設）</p>
(2) 産休代替職員雇用費補助	<p>児童福祉施設の職員が出産又は傷病のため、長期間に渡り継続する休暇を必要とする場合に、職員の母体保護又は専心療養の保障を図り、併せて児童福祉施設における入所者の処遇を確保するため、代替職員を臨時的に任用する児童福祉施設の設置者に対し、予算の範囲内においてその経費を補助する。</p> <p>※ 令和7年度予算額 636 千円（児童福祉施設及び乳児院）</p>
(3) 児童養護施設等学習等支援事業費補助	<p>児童養護施設に入所している児童や、里親等に委託措置している児童に家庭学習等の支援を行うことにより、児童の学習能力の向上や自主性及び社会性等の伸長を援助し、児童の社会的自立を促進することを目的に、その学習等支援を行う事業者に対し、その経費の一部を補助する。</p> <p>※ 令和7年度予算額 1,500 千円（児童養護施設及び里親等）</p>